



(住所) 天理市石上町
 (祭神) 宇迦御魂神
 (交通) JR 樫本駅に近い奈良交通バス停「樫本」から「天理北」
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 無し
 (電話) 無し
 中学校「下車。徒歩約15分。」

姫丸稻荷神社 (天理市)



姫丸稻荷神社は天理市石上町の平尾山という丘にあります。辺りは平安時代の延喜式神名帳に記された石上市神社の旧社地。同神社が江戸時代に西へ移った後、末社の姫丸稻荷神社が旧社地に残ったとされます。祭神は宇迦御魂神です。境内に「石上広高宮

伝承地」の碑があります。日本書紀が善政を敷いた

と記す第二十四代・仁賢天皇の皇居跡と考証され、周辺は「宮の屋敷」と呼ばれました。平安歌人の在原業平は平尾山の近くで生まれ、幼名を平尾丸といったそうです。明治時代に神社の東で銅鐸2個が出土して、「石

上銅鐸出土地」の碑もあり、文化の中心地だった事がうかがえます。昔話「平尾稻荷のけんけんさん」が残っており、お稻荷さんを守るおばあさんの帰りが遅くなるのと、けんけんさん(キツネ)が赤い灯をつけて迎えに来たと伝わります。拜殿前は60基近い木の

鳥居が建ち、朱色と竹林の緑のコントラストが鮮やかです。旧暦2月に当たる3月に初午行事を行い、その前に厄年の人が自費で鳥居を1基ずつ新調する習わしですが、一般の寄付でも鳥居を奉納します。コロナ禍で3年ぶりとなった今年の初午では15基が新調され、氏子の信仰の深さを表すように、まぶしく感じます。(奈良まほろばソムリエの会員 西慶子)

仁賢天皇の皇居跡

(奈良まほろばソムリエの会員 西慶子)